

学会録事

昭和47年度庶務会計報告

(昭和47年4月1日から昭和48年3月31日まで)

庶務報告

1. 昭和47年4月2日 全海苔会館に於いて懇談会を開催(講演: マレー半島の自然と人間, 熊野 茂氏)。出席者31名。
2. 昭和47年4月25日 「藻類」第20巻1号発行。
3. 昭和47年6月12日 持廻り評議員会, 20周年記念事業(講演会開催・索引印刷)。
4. 昭和47年7月 日米セミナーのプロシーディング発行。
5. 昭和47年8月25日 「藻類」第20巻2号発行。
6. 昭和47年10月11日 名古屋大学教養部化学教室会議室において午前10時より評議員会開催。

創立20周年記念講演会が午後1時より, 名古屋大学教養部において開催された。講演者は広瀬弘幸(会長), 中原紘之(京大・農), 植田利喜造(東教大・理), 黒木宗尚(北大・理), 香村真徳(琉大・文理), 出席者58名。

総会は午後5時より教養部南食堂において開催, 出席者49名。議事 1)議長に瀬木紀男氏選出, 2)庶務会計報告編集報告, 日米セミナー・プロシーディング販売報告, 3)協議決定事項 イ. 予算案可決, ロ. 索引(11巻~20巻)発行の件可決, ハ. 編集方針, 投稿規定改正の件可決, ニ. 昭和48年度から会費を年額1,800円(外国会員は2,100円)と改め, 会則の会費に関する箇所を改正する件可決。(詳細は本

誌20(3): 117-119を参照下さい。)

引続き午後6時半より懇親会開催。出席者49名。

7. 昭和47年12月25日 「藻類」第20巻3号発行。
8. 昭和48年2月27日 昭和48,49年度会長及び評議員選挙開票の結果, 次の諸氏が当選。会長: 中村義輝。評議員: 黒木宗尚, 籾 熙(北海道); 中沢信午(東北); 新崎盛敏, 有賀祐勝, 千原光雄, 小林 弘(関東); 瀬木紀男(中部); 広瀬弘幸, 坪 由宏(近畿); 藤山虎也, 岩崎英雄(中国四国); 右田清治, 沢田武男(九州)。
9. 昭和48年3月31日現在 会員数522名*。

* 会費2年以上滞納者, 住所不明者を整理したため, 減少している。

新入会

昭 和 47 年 度 決 算

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費 408 人 (589 件)	673,892円	印刷代* 20 卷 1 号	148,450円
バック 365 冊	170,855	2 号	141,500
瀬川別刷代 10 組	12,000	3 号	191,560
広 告 代	15,000	大会案内印刷費	7,800
別刷印刷代	6,477	発 送 費	27,205
利 子	2,691	通 信 費	16,465
小 計	880,915	消 耗 品 費	15,295
繰 越 金	100,087	幹 事 手 当	36,000
		謝 礼	6,000
		換送金手数料	690
計	981,002	小 計	590,965
		差 引 残 高 (繰越金)	390,037
		計	981,002

* 印刷： 総 頁 120 頁
名 簿 22 頁

昭 和 47 年 度 予 算 案

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費 400 人 (450 件)	550,000円	印刷費 20 卷 120 頁	
バック 190 冊	100,000	1~3 号	450,000円
利 子	2,500	会員名簿 (25 頁)	100,000
広告代	15,000	会長選挙用名簿	10,000
小 計	667,500	発 送 費	30,000
前年度繰越	100,087	通信費 (含バック発送)	25,000
		消 耗 品 費	15,000
		幹事手当・謝礼	42,000
		予 備 費	95,587
計	767,587	計	767,587

再 入 会

住 所 変 更

本学会懇談会

日本水産学会年会を期に、昭和48年4月5日午後5時から、東京水産大学水産資源研究施設会議室において、恒例の本学会懇談会が開催された。会は岩本康三氏の司会により広瀬弘幸前会長のあいさつで始まった。前会長は任期中の会員諸氏の協力を謝し、選挙の結果当選された中村義輝氏に会長を引き継ぐと述べられた。続いて庶務幹事の熊野茂氏より、選挙結果新評議員の紹介がなされた。その後、中村義輝新会長は、新評議員の皆さん会員の皆さんの支援のもと、藻類学会の発展のために尽したい旨のあいさつがあった。時田郁前々会長の3代にわたる会長のあいさつ、乾盃の音頭により会食に移った。

北は札幌の黒木宗尚氏、南は長崎の右田清治氏、最年少の水産大の前川氏をはじめ全員の自己紹介をかねたスピーチがあった。ナポリ臨海研究所で半年間、日本の藻類研究者として初めて、研究生生活を送って来られた、横浜康継氏より「ナポリでの研

究と生活」と題する講演を、ナポリ美人がふんだんに撮ってある楽しいスライドを觀賞し乍ら拝聴し、9時頃閉会した。

出席者 (42名)

有賀祐勝, 荒木 繁, 新崎盛敏, 榎本幸人, 舟橋説往, 藤山虎也, 広瀬弘幸, 堀輝三, 原田成喜, 市村輝宜, 庵谷 晃, 岩本康三, 岩崎英雄, 熊野 茂, 片田 実, 鬼

頭 鈞, 黒萩 尚, 今野敏徳, 黒木宗尚, 川村輝良, 小林 弘, 宮田益忠, 松井敏夫, 正置富太郎, 右田清治, 前川行幸, 西浜雄二, 中原紘之, 中村義輝, 斎藤 譲, 斎藤雄之助, 佐藤重勝, 須藤俊造, 瀬木紀男, 館脇正和, 津村孝平, 時田郁, 月館潤一, 田上英一郎, 梅林脩, 横浜康継, 籙 熙。

日本藻類学会宛寄贈文献

(昭和47年4月1日~昭和48年3月31日)

— 雑 誌 —

日本菌学会会報 12(3, 4) 1971—13(1) 1972—13(4) 1972.

南極資料 (43), (44), (45) 1972.

国会図書館逐次刊行目録 1970.

東京大学海洋研究所業績集 9 1970.

南西海区水産研究所研究報告 (5) 1972.

近畿大学海洋科学研究所研究報告 (1) 1972.

小田原市郷土文化館研究報告 (8) 1972.

Acta Botanica Fennica (96) 1972—(98) 1972.

Acta Biologica Venezuelica 7(3) 1971—8(1) 1972.

Bulletin of the ocean research institute, University of Tokyo (5) 1972.

Ботанический Журнал 56(12) 1971—57(12) 1972.

Научни Трудове 10(1) 1972—10(3) 1972.

Natura 4(1) 1971.

— 単 行 本 —

Proceedings of the 7th International Seaweed Symposium (Nisizawa, K. ed.) Univ. Tokyo Press, Tokyo. 1972.

— 資 料 —

○漁場汚染対策研究関連の既往の文献資料 第1集 1972. 漁場汚染対策研究協議会

○瀬戸内海西部における赤潮発生の誘引条件の解明に関する緊急調査研究 1972. 同上

○浅海域における増殖漁場の開発に関する総合研究 1972. 備後灘周辺漁場開発プロジェクトチーム

— 別 刷 —

- ISHIJIMA, WATARU (1960) Notes on some Miocene Algae from Central Japan. 立教大学研究報告(自然科学) (7).
- (1963) On some fossile calcareous algae from the Galapagos Islands. St. Paul's Rev. Sci. 2(2); 61-68.
- (1965) On some Coralline algae from a Guyot in the Cocos-Keeling Basin, Eastern Indian Ocean. Ibid. 2(3); 79-88.
- (1965) Calcareous algae in the Chihko-shan Limestone from Sinchu District, Taiwan. Ibid. 2(5); 179-190.
- (1967) On the fossil algae from Kidohara, Takashino, Chichibu City, Saitama Prefecture, Japan. Ibid. 2(6): 197-204.
- (1967) On some Miocene algae from the Matsuzaki district, Izu Peninsula, Japan. Ibid. 2(6); 205-214.
- (1968) Calcareous algae from Makinogo near Shuzenji, Izu Peninsula. Ibid. 2(7); 245-254.
- (1969) Tertiary and Pleistocene algae from Mindoro, the Philippines. Geol. Palaeontol. Southeast Asia. 6; 277-291.
- (1969) Discovery of *Distichoplax biserialis* (Dietrich) in upper Eocene limestone lenses exposed in the valley of the Mangamnan River, Marinduque Island, the Philippines. Ibid. 7; 87-92.
- (1971) Upper Paleozoic Calcareous algae from the limestone at Sakai-shimachibun, Saitama-Ken. Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo. 14(1); 97-136.
- OGAWA, HISAO, INOH SHUMPEI and OHMORI TAKEO (1969) Meiosis in the oogonium of *Sargassum tortile* C. Ag. Bot. Mag. Tokyo. 82(968); 45-52.
- Vodenicarov, D. (1970) *Centrtractus heteracanthus* sp. nov. Natura. 3(1).
- and BENDERLIEV, K. (1971) Centrally-Parietal chromatophore in green coccal algae. C. R. Acad. Bulg. Sci. 24(4).
- und —— (1971) *Trochiscia stellata* sp. Nov. Natura 4(1).
- 大森長朗 (1970) イソムメモドキの孢子発生. 藻類, 18(3).
- (1971) 海藻の識別しがたい細胞膜の染色の一方方法. 藻類, 19(3).
- (1972) ヤバネモクの幼胚について. 藻類, 20(2).
- 谷口森俊 (1970) シンガポールの海藻. 海藻研究資料, (2).
- (1970) 津屋崎の海藻群落. 同上, (5).
- (1970) 大島 of 海藻群落. 同上, (5).
- (1970) 山口県小串の海藻群落. 同上, (6).
- (1970) フィリッピン, マニラ湾の海藻群落. 北陸の植物, 18(2).
- (1970) 石垣島の海藻群落. 医学と生物学, 81(6).
- (1971) 沖縄の海藻群落. 同上, 82(1).
- (1971) 種子島の海藻群落. 同上, 83(5).

- 谷口森俊 (1971) 香港の海藻群落. 海藻研究資料, (7).
—— (1971) タイ国南岸の海藻植生. 同上, (8).
—— (1971) 台湾の海藻群落 (その2). 同上, (9).

本会名誉会員 山内繁雄博士は、去る昭和48年2月2日逝去されました。謹んで、哀悼の意を表わします。

日本藻類学会